

Title	目で見るWHO 第88号 巻末資料等
Author(s)	柳澤, 沙也子
Citation	目で見るWHO. 2024, 88, p. 35-38
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97191
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。
(匿名希望を除く。50音順、2024年2月末現在)
この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

川合 祥文 様
一般社団法人生産技術振興協会

編集委員のページ



柳澤 沙也子

長崎大学生命医科学域(保健学系)助教

看護師として病院や高齢者施設にて勤務した後、JICA 海外協力隊(インドネシア派遣)等を経て2021年より現職。NPO法人Rehab-Care for ASIAインドネシア事業リーダー。

天涯比隣の如し

2023年末、NPO活動を目的としてインドネシアに渡航しました。コロナ禍の影響で海外渡航を自粛していたことに加え、日本では仕事等に追われていたため、約4年ぶりの海外となりました。渡航先では、コロナ禍にオンラインにてリハビリテーションや療養生活に関する助言を行ってきた在宅療養者にお会いし、元気になった姿を拝見できました。コロナ禍以前からNPO活動で協働してきた現地協力者が渡航中の活動をコーディネートしてくれており、コロナ禍の間もオンラインで継続してきた活動の意義を改めて感じました。

療養者の自宅では、自宅内の間取りや段差、道路の様子、熱帯独特の蒸し暑さや軒先で遊ぶ子ども達の笑い声といった、オンラインではわからなかったたくさん目のことを肌で感じました。現場を見ながら対話することで初めて腑に落ちたことも多々あり、パソコンやスマートフォンの画面を通して見えるものは、意図的に切り取られた世界の一部にすぎないと痛感しました。

そして、帰国後もSNS等を活用してやり取りを継続できることは、コロナ禍を経た大きなメリットだと考えます。私の所属するNPO法人Rehab-Care for ASIAのメンバーは現地に駐在していない分、現地協力者と映像やビデオツールを通じた情報交換はとても重要です。コロナ禍を経てオンラインでのイベントや勉強会、ハイブリッド参加が新たな選択肢となりました。対面とオンライン、双方のメリットを活かし、NPO活動のみならず、様々な活動を継続していきたいと思えます。

グローバルな視野から健康を考え、
国の内外で人々の健康増進につながる諸活動と
WHO 憲章精神の普及活動を展開しています。
私たちの活動に賛同し、
継続のご支援頂ける方の入会をお待ちしています。

会員種別	年会費
正会員：個人	50,000円
正会員：法人	100,000円
個人賛助会員	1口：5,000円
学生賛助会員	1口：2,000円
法人賛助会員	1口：10,000円



入会のお申し込みはこちらから

目で見る WHO



Visual Journal of Friends of WHO Japan

2024 春号 No.88
2024年4月1日 発行
定価 1,100円

発行者
中村安秀

編集委員
安田直史（編集長） 山田絵里（副編集長）
磯邊綾菜 小笠原理恵 木下英樹 佐伯壮一朗 柴原史歩 島津美寿季
清水ちとせ 白野倫徳 鈴木大地 戸田登美子 林正幸 福井沙織
藤井まい 松澤文音 村田朱理 森本早紀 柳澤沙也子 渡部雄一

編集協力：森井真理子
デザイン協力：根本睦子

発行所
公益社団法人 日本WHO協会
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 大阪商工会議所ビル5F
TEL ☎ 06-6944-1110 FAX ☎ 06-6944-1136
URL ☎ <https://www.japan-who.or.jp/>

WHO への人的貢献を推進しよう

広告

株式会社 プロアシスト

代表取締役社長 阪田 敦視

〒540-0031 大阪市中央区北浜東 4-33
北浜ネクスピル 28F
TEL 06-6947-7230 FAX 06-6947-7261

新居合同税理士事務所

代表税理士 新居 誠一郎

〒546-0002 大阪市東住吉区杭全 1-15-18
TEL 06-6714-8222 FAX 06-6714-8090

ポリグルソーシャルビジネス
株式会社

代表取締役 小田 節子

〒540-0026 大阪市中央区内本町 2-1-19
TEL 06-6967-8777 FAX 06-6967-2888



岩本法律事務所

弁護士 岩本 洋子
弁護士 藤田 温香

〒541-0041 大阪市中央区北浜 2-1-19-901
サンメゾン北浜ラヴィッサ 901
TEL 06-6209-8103 FAX 06-6209-8106



化学遺産に認定されました

日本化学会 認定化学遺産 第041号『日本における殺虫剤産業の発祥を示す資料』



金鳥の渦巻

世界初の
渦巻き型蚊取り線香



キョーロ

日本で初めての
エアゾール殺虫剤



日本の殺虫剤産業は、弊社創業者の上山英一郎と除虫菊との出会いから始まり、有用な化学製品である世界初の蚊取り線香やエアゾール殺虫剤の製品化、ならびに除虫菊に含まれる有効成分・ピレトリン類に関わる化学的研究を礎として現在に至っております。



日本型セルフケアで、健やかな社会を。



日本セルフケア推進協議会は、国民の健康を第一に考え、
産学官の垣根を超えた横断的な情報交換を行うことで、
来るべきAI時代の大変化に対応し、
国民の健康寿命延伸に寄与できるような様々な調査や
オープンな意見交換、それに基づく提言を行っていきます。



SARAYA SDGs SOLUTIONS for UGANDA



日本の衛生環境改善に貢献してきたサラヤ。
しかし、世界にはいまだ不衛生が原因で
病気になってしまう方々がたくさんいます。

そこで、かつて日本でいった家庭での手洗い、
病院での手指消毒の普及活動をウガンダで展開しています。

公共の場での手洗い設備の設置や手洗い啓発キャンペーン、
また現地法人で生産するアルコール手指消毒剤の医療施設への導入、
病院における院内感染についての知識やアルコール消毒の重要性、
正しい方法を伝えるトレーニングを実施しています。

また、妊産婦を守る「ホワイトリボン運動」活動支援の一環として、
2018年よりカンバラ郊外において、
妊産婦を感染症から守るプロジェクトを開始しました。

ウガンダの衛生環境改善に貢献する、サラヤ。

公益社団法人
日本WHO協会
Friends of WHO Japan

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 大阪商工会議所ビル5F
TEL。06-6944-1110 FAX。06-6944-1136
URL。https://www.japan-who.or.jp/

